
クロピカと私

るうと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クロピカと私

【NZコード】

N1398N

【作者名】

るうと

【あらすじ】

私とヤツとの人生の遭遇率は高い。それもヤツが現れると特典でいつも不幸が付いてくる。ヤツは世間では「ゴキリ」と呼ばれている。恐ろしくて私はクロピカと呼んでいる。黒くてピカピカしてるからだ。ピカユウみたいで可愛いから付けたんじゃないんだかんね！腐女子の主人公のラブコメディー？何気に主人公モテます。

1話・クロピカ、宝の山を発見する

「お前って、腐女子じゃん？」

休日の朝、清々しい太陽の光を浴びて、リビングに起きてきた私に向かつて兄に言われた言葉。（。。。）「ゴルアーー！朝の始まりはオハヨウでしうが！幼稚園からやり直してきなさいー！つて、今つて言つた？」

「え？すみません、何て言いました？」

俄かに信じられない言葉を兄から聞き、つい敬語になつてしまつ私。落ち着け私、興奮したら負けだ。

「この漫画さ、女友達が萌えるつて言つてたんだけどさあ、興味ないつて言つてんのに、読めつてうるさくてさー…」

「おいおい、私の言葉を完全スルーかよ。それも何気に女の自慢かよ。

「つか、『その話長いの？』（京急・テレパシー篇のCMより抜粋）

「つてことで、腐女子のお前の意見も聞きたいわけ。」

「（。。。）・・・ブツ」

つい吹きだしちゃう、お茶目な私。ココは萌えポイントと思つてくださいませ、ご主人様。つてか何で、私が腐女子つて兄が知つてんの。とても怖いんですけど。つか女との交流に私を巻き込むな。

「おほほほ、お兄様つたら可笑しな方！私は腐女子なんかじやなくつてよ！」

見事なフットワークで攻撃をかわす私。

「何その喋り方。お前の方がオカシイわ。」

見事なブリザードの反撃を繰り出す兄。中々ダメージは大きいけれど、ホイミで頑張るおーわ、私負けないもん！！

「そんな漫画、自分で読んで妹に頼むなっていうんですよ。」

「そんな漫画つて、これお前の部屋にもあるじゃん。」

(#
。)
△
八
!!

だから、なんでそんな事知つてんのよ。 つつか、え? 兄、私の部屋に入つ...え? w

「精液？」
「おおおおう、お主、私の聖域に入つてはなかろうな？」

「セ・イ・イ・キ！－！」のオタンコナス－！」
「うるせえなあ、どいつもこいつも良いよ

「うねせえなあ、じいちでも良こや」

良くない、良くないぞ青年！！私の印象が大きく変わるジヤマイ
力！！ガクガク（（（：。。）））ブルブル！今時の子つて何で
こんなに恐ろしい程、世の中どうでも良いです～ダルイです～つて
オーラだすのだろうか！！何の意味もない！あ、自然と小島よしお
ネタしちまつたよ。オッパピー。

「萌えます。」

つて（艸 、 * ） うあ、 うあ、 あ、 あ、 ！ ！ ！ 何正直に言つ
ちゃつてるの、バカ！私のアルパカツ！！でも、この漫画を嘘でも
萌えないなんて言えません、言えませんww

「そか、じゃあ読んでみるかな。」

どうとう、兄もこちらの世界に踏み出した様です。妹はぜひ、兄にはリアルに彼氏を作つてほしいと願つてゐるお。最初は二次元から始めてみるんですね？わかります。

「あ、わ、わお前の部屋にヨギブリいたよ。」

したわ

そうですね、ベッド下は見ちゃダメって思春期の男の子を持つ親子さんは、良く聞かせておいてあげて…って、え。

「お前、よくあんな漫画買えるな。尊敬するわ。」
あはは、クロピカ追いかけたら宝の山でしたか、そうですか。

「お前、よくあんな漫画買えるな。尊敬するわ。」

＼（^○^）／オワタw

腐女子視点から読むと、萌え要素ざわつしりの漫画を持ち、軽やかに自分の部屋に戻つていいく兄を見ながら、私は次の漫画の隠し場所に頭を悩ませるのであつた。

2話・クロピカの城、名は学校

私の今通っている高校は、もともとは男子校だった。

一昨年に共学となつたが、今でも女子と男子の比率は2・8。

そうですとも、そうですとも、萌え要素ぎつしりなんです。
ちなみに、クラスにはなるべく女子が集められ最低2人はいる。
逆に言つと、男子しかいないクラスもあり、私は秘密の花園と呼んでいる。

「おはよ、かのん。」

「おはよーう、チカちゃん！」

申し遅れました、私「菊池かのん」と言います。高校2年生やつてます。

この子はチカちゃん。私と同じクラスの女の子です。え？この子も腐女子かつて？

いやいや、チカちゃんは普通に10ヶ月のラブラブな彼氏様がいて、腐つません。

今が旬です。（え でも、チカちゃんは私が腐つてゐのを知つてます。

なんでつて？それは、普通に私がバラしたからだよ、ワトソン君（？）。

私はホモが嫌いな女子なんていない！をモットーに生きていますからね！

きっと何処か深い所で分かりあえると信じていいのだよ。

チカちゃんの彼氏様とのノロケ話を聞きながら教室に到着！

席はチカちゃんが教卓の前の列から3番目で、私は窓側の一番後

ろ

この席は、クラス皆をウォッチングしやすく妄想を掻き立てるベストポディションなのだ！

私のくじ運グッジョブ！（。。）

席に着くと、私の隣の席「鹿野君」がいた。

今日も朝来るのが早い。そして、今日もとても可愛らしい。

「シカちゃん、おはよ！」

「おはよ菊池。ちゃん付けはやめてよ。」

シカちゃんはこの男子が多い学校で珍しく、女の子みたいに可愛い。

私の脳内では、シカちゃんは受け役を嫌がっている。しかし、彼女はいないというデータがあるので

私の中で、シカちゃんは絶賛受け役である。

「だって、シカちゃん可愛いんだもん。」

「…男に可愛いは褒め言葉じゃないよ。」

と言いながら、頬を染めるシカちゃんは可愛いく、

私が男だったらきっと色々とシカちゃんは濃い人生を歩んだだろ？
残念だ。

しかし、一番残念なのは私の学校にクロピカが大量発生していることである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1398n/>

クロピカと私

2011年3月5日11時32分発行